

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-02-02-01
事務事業名	商業振興事業	根拠法令・要綱等	備前市商業振興対策事業補助金交付要綱
事業開始年度	S46~	問合せ先	担当課(室) 商工観光課 職・氏名 商工労政係長 中島 和久 電話 0869-64-1832
総合計画	大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目 基本施策	起業と創造が支えるまちづくり	
	小項目 施策	商業(魅力的な商店街の創出)	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内商店街、商業者グループ、商工関係団体等
目的(何のために)	市内商店街等の商業振興
行政活動(どのような方法で)	空き店舗対策に取り組み商店街に対し補助金交付、海運組合、中国海事広報協会、県国際交流協会への負担金、イルミネーション、ぼんぼりの設置による演出。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地元商店街の活性化、集客力の向上

事業の実績						
活動実績	実施項目		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	商業ゼミナール参加者数	人	60	66	70	
	国際経済交流セミナー等開催数	回	17	20	21	
	イルミネーション、ぼんぼり費	千円			987	
	空き店舗対策事業補助金額	千円			2,028	
	火災類取扱件数	件	14	3	13	
	事業費	直接事業費	千円	136	143	5,342
		人件費	千円	5,914	5,257	547
		事業費計	千円	6,050	5,400	5,889
	財源	国県支出金	千円			1,248
受益者負担		千円	5	6	239	
一般財源		千円	6,045	5,394	4,402	
必要人員	人	0.50	0.32	0.06		
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	商業ゼミナール参加者数	説明				
	結果指標量	人	60	66	70	
	対前年比	%	-	110.0%	106.1%	
	活動コスト	円	6,050,000	5,400,000	5,889,000	
単位当たりコスト	円	100,833	81,818	84,129		
結果指標	片上商店街空き店舗数	説明				
	結果指標量	件	6	6	6	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	6,050,000	5,400,000	5,889,000	
	単位当たりコスト	円	1,008,333	900,000	981,500	

事業の成果			
成果指標名	片上商店街の空き店舗割合	式又は説明	片上商店街空き店舗数 / 商店数(48件)
成果指標量	17年度 6	18年度 6	19年度 6
対前年比	100.0%	100.0%	100.0%
到達目標値	0	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	妥当性評価<A~E> C
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		人口の減少、少子高齢等により、地元商店街の衰退が著しいことから、商業振興対策は重要である。
	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		効率性評価<A~E> C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		課題認識
効率性の評価	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
手	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が当たらない		関係団体と協力をしながら、効率的な事業実施を図る。本年度は、空き店舗対策事業を実施するため、事業費、人件費が増えている。
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		有効性評価<A~E> C
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		課題認識
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		今後も積極的に情報提供を行い、有効な事業の実施を図る。
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	イルミネーション、ぼんぼり設置は業務委託を廃止し、職員で取付を行うなどして事業縮小している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 80(人)	結果指標量	80(人)

総合評価		評価区分<A~E>	C
市の商業振興につながる有効な事業を企画する必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	負担金の見直し	随時	経費削減